

平成23年 財政の健全化に向けた「事務事業の見直し」の取組

「事務事業の見直し」については、第2次あきる野市行政改革推進プランにより各課において取り組んでいるが、非常に厳しい財政状況が続くことが見込まれる中において、歳出を抑制し、歳入に合わせた歳出構造とするため、引き続き、財政の健全化に向けた取り組みが必要であることから、企画政策課において事業を抽出し、担当課とともに「事務事業の見直し」を行った。

1 対象事業（12事務事業）

事務事業名	担当課	ヒヤリング日程
コミュニティ教育推進事業	地域防災課	10月12日
レセプト審査事業	保険年金課	10月19日
市の管理施設用ごみ袋配付事業	環境課	10月6日
あきる野映画祭実行委員会運営支援事業	商工観光課	10月13日
健康づくり関係事業（健康生活相談事業・健康づくり意識啓発事業など）	健康課	10月27日
母と子の健康教育事業		
水洗化台帳作成事業	下水道課	10月7日
秋川流域市町村視聴覚教育協議会運営事業	指導室	10月11日
図書館活用推進事業		
青少年健全育成地域活動支援事業	生涯学習推進課	10月11日
男女共同参画情報誌「f・wave」発行事業		
公民館における家庭教育学級事業	公民館	10月28日

- 2 作業の手順
- 10月 6日～28日 企画政策課によるヒヤリングの実施
 - 10月 6日～11月30日 担当課による検討・調書の作成
 - 12月16日 担当課と企画政策課による次年度の方向性の決定
 - 1月 4日 市ホームページに取組の公開

3 見直しの判断基準

基準	方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・所期の目的が達成されたと考えられるもの ・開始当初と事情が変化し、事業の実益、効果が薄れているもの ・行政効果がなく、廃止しても市民に影響がないと考えられるもの 	廃止
<ul style="list-style-type: none"> ・必要性、重要性等から判断して、隔年または数年おきの実施が可能なもの ・事業存続の意義はあるが、事業実績等の観点から事業規模を縮小すべきもの 	縮小
<ul style="list-style-type: none"> ・必要性の優先順位が低く、実施すべき緊急性が認められないもの 	休止

基準	方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・類似の事務事業を異なった所属で実施しているもの ・大会、講習会等で一元的に実施することにより相乗効果が期待できるもの 	統合
<ul style="list-style-type: none"> ・民間ノウハウの活用により事務の効率化につながるもの ・委託することにより、行政サービスを低下させることなく、経費節減につながるもの 	民間委託
<ul style="list-style-type: none"> ・事務処理の手順や添付書類等について、廃止、変更等の改善が可能なもの ・共同処理、集中処理を行うことにより、簡素化が図れるもの 	事務処理の改善

○見直し結果

事務事業名	今後の方向性	見直しに関するまとめ[事業に係る予算の削減]
コミュニティ教育推進事業	事業を廃止する 他の事業と統合する	<p>コミュニティ教育推進事業のうち、菊づくり教室とクズバフジのかご作り講習会は、コミュニティ活動のリーダー育成という所期の目的が達成できたため、廃止する。</p> <p>なお、花めぐりウォーキングは、オープンガーデン事業とあわせて実施することがその目的達成のためには効果的であることから、花いっぱい運動推進事業として、継続して実施する。</p> <p>[平成23年度36千円⇒平成24年度9千円]</p>
レセプト審査事業	事業を民間に委託する	<p>民間事業者への委託を検討するため、他市での取組状況を調査し、レセプト点検の精度や点検率等について検証する。現在は、被保険者一人当たりの財政効果額が東京都平均を上回っており、非常勤嘱託員によるレセプト審査が成果として表れていることから、民間事業者へ委託する時期については、今後、費用対効果を分析しながら、見極めることとする。</p>
市の管理施設用ごみ袋配付事業	事務処理方法等を改善する	<p>事業開始から9年が経過し、市の管理施設から発生するごみの減量の取組は、定着したと考えられる。事業所用ごみ袋の購入は、引き続き環境課で行うが、配付枚数は実績に基づき決めるなど、事務処理方法を改善して、事務量の軽減を図る。</p> <p>今後、市の管理施設におけるゴミの減量の取組は、各施設担当課において、ごみ袋の消費量の削減及び管理に取り組むことで、推進することとする。</p>
あきる野映画祭実行委員会運営支援事業	事務処理方法等を改善する	<p>所期の目的は達成した事業であるが、映画「五日市物語」の完成を契機に、今後は、あきる野映画祭を活用して地域の活性化を図ることを目的とする。</p> <p>映画祭を全国に情報発信する取組や映画「五日市物語」を活用して「東京のふるさと」あきる野市をPRするため、あきる野映画祭を運営している実行委員会を引き続き支援していく。</p>
健康づくり関係事業	事務処理方法等を改善する	<p>五日市ファインプラザの総合健康相談は、集客向上と健康づくり意識啓発事業の周知などを積極的に行い、地域の保健活動を活発化させるために継続するが、周辺地区での地域イキイキ元気づくり事業でも健康相談や栄養相談などを多数実施しているため、運営体制等の課題が解決できるように努め、地域イキイキ元気づくり事業への統合について検討する。</p> <p>また、健康課窓口での総合健康相談の実施を検討し、常時相談ができる体制と相談場所の確保に努め、市役所1階で実施している総合健康相談について見直す。</p>

事務事業名	今後の方向性	見直しに関するまとめ[事業に係る予算額]
母と子の健康教育事業	事業を廃止する 他の事業と統合する	<p>「母と子の教育事業」のうち、「遊びを通じての親子のつどい」については、子育て支援課で実施している「子育てひろば」、「子育てグループ育成・支援」事業の対象者と内容が類似しているため、事業を廃止する。</p> <p>また、「母子保健相談事業」のうち、五日市保健センターで実施している「育児相談」については、子育て支援課で実施している「子育てひろば」と連携して実施し、従事している職員数の縮減を図る。</p>
水洗化台帳作成事業	事務処理方法等を改善する	<p>水洗化台帳は、手書きにより図面を更新し、新年度用の台帳を委託により作成している。パソコンシステムを運用している下水道台帳とは、ベースとなる基礎図も、管理している内容も表示方法も違うため、統合できないが、事務処理方法等を改善し、新たに供用開始した区域のデータ入力直営で行う。</p> <p>また、図面の更新作業をまとめて委託することで、3年間で約20%の削減を図るとともに、引き続き、簡単な図面化方法、データ方式の見直しにより、費用の削減を検討していく。</p>
秋川流域市町村視聴覚教育協議会運営事業	現状維持のまま継続する	<p>現状では、予算規模も最小限度まで縮小し、視聴覚資料の貸出しのみを行う事業となっているため、当分の間、現状維持のまま継続することとするが、視聴覚資料を新規に購入していないため、貸出件数等が減少してきた場合には、存続意義を再度検証し、協議会の廃止について、検討する。</p>
図書館活用推進事業	現状維持のまま継続する	<p>図書館ボランティア等の活用方法については、引き続き検討することとし、当面は、現状維持のまま事業を継続する。なお、図書館補助員の業務内容については、学校間で違うということがないようにし、図書館補助員の役割を明確にする。</p>
青少年健全育成地域活動支援事業	現状維持のまま継続する	<p>支払方法は、地区別補助を継続することとするが、真に補助すべき事業であるかを見極めるため、モニタリングを実施し、特色を持った地区活動に補助金が活用されるよう取り組む。</p> <p>また、課題となっている青少年の地域リーダーの育成に取り組むために、地域の青少年が率先して青少年推進活動に参加できるような事業の実施について、検討する。</p>
男女共同参画情報誌「f・wave」発行事業	事業を廃止する	<p>男女共同参画に関する情報提供は、市民が市の情報を得る手段として最も利用している広報誌へ記事を掲載したほうが、情報誌として発行するよりも効果的であると判断し、事業の趣旨も継続できることから、男女共同参画情報誌「f・wave」発行事業は廃止する。</p> <p>[平成23年度1,092千円⇒平成24年度0千円]</p>
公民館における家庭教育学級事業	事務処理方法等を改善する	<p>地域や家庭における子育ての支援や家庭の教育力の向上が必要とされる現状を踏まえ、参加者数の増加対策や子育て支援ネットワークの強化に努める。</p> <p>家庭教育や子育て支援についての情報交換等を行うための横断的な組織の設置や東京都との連携による人材育成、市内の関係団体との協働による取組等、家庭教育事業の充実を図る。</p>